

同志社の社会福祉:「良心派」の系譜
社会福祉と良心 ③

同志社大学
木原活信

コンパッションと良心の痛み

- 個人的なるものと、社会的なるもの
- 社会のなかのマイノリティの文脈で発露
- Compassionと関連 社会問題への眼差し

- 例)社会福祉従事者の数:日本のなかのキリスト教、アメリカのなかのユダヤ教

社会福祉の良心 欧米の場合

福祉実践行動の原動力、起爆剤となる

「良きサマリヤ人」スピリッツ ⇒

欧米福祉の源流 “キリスト教的良心”

主流派でなく、組織力もないときに生じる

ウエスレーと国教会 救世軍と国教会

ミュラーと国教会 クエーカーと国教会

Jane Addamsの例

社会福祉の良心 日本の場合

- 日本の場合 欧米キリスト教の影響

- 同志社「社会福祉」派or「良心派」の系譜

社会福祉の歴史形成過程と同志社福祉

- 慈善→(博愛)→社会事業→厚生事業→社会福祉
- 神学部→社会事業学科→厚生学科→社会福祉学科

5

新島精神：ロジックというよりエートスとして

「固より新島先生は何等の神学を残されなかった」大塚節治
1942:3「回顧と展望」『基督教研究』20-1

「下民ノ友」「人民ノ木鐸(ぼくたく)」(全集 I 46-47)

「人民ノ友トナル」(同:424)

「薫陶を受けた者達が、或は貧しき者の友を以って任じ、或は囚われたる者を放つことを志し、艱(なや)み苦しめるに伍して終生、そのサービスに尽くさんと決心する様になって来たことは、当然の結果と言ふべきであらう。即ち同志社精神が我国社会事業界に先立って、その原動力を起こしたと見るべきであります。」牧野虎次1934「同志社精神と社会事業」『同志社校友同窓会報』

新島襄の「福祉」思想の萌芽

- 1) コングリゲーションナリズム 会衆派信仰 cf長老派
民主主義 自主・独立
- 2) ボランティアズム
英米流 抵抗の論理、自主性、民間性(⇔官)
- 3) 「良心」
新島の「良心」教育 人物教育(cf 人才、人材)
「一国の良心ともいうべき人物」

社会福祉の良心「同志社派」

- 「社会福祉の良心」派 「底辺へむかう志」(小倉襄二)
- 新島襄⇒ 「一国の良心ともいうべき人物」
- 「良心の全身に充満したる丈夫(ますらお)の起り来(きた)らん事を」
- 「道徳心を磨き、品性を高め、精神を正しく強めるように勤め、ただ、技術や才能ある人物を育成するだけでなく、いわゆる『良心を手腕に運用する人物』」
- 「それはただ、キリスト教の神を信じ、真理を愛し、他人に対する思いやりの情に厚いキリスト教の道徳によって、『一国の精神となり、活力となり、柱石となる人物』である」。

「同志社派」(良心派)の誕生

会衆派主義的キリスト教、ボランティアズム、が明治、大正期の時代状況のなかで「良心」という装置によって結合

⇒「同志社派」の誕生

(CF:キリスト教と社会主義)

「政治の早稲田、経済の慶應、福祉の同志社」(小倉襄二)

(海老名弾正の「精神」からの援用か)

新島襄、山本覚馬、留岡幸助、山室軍平、(石井十次)、牧野虎次、(賀川豊彦)、竹中勝男、竹内愛二、嶋田啓一郎、金徳俊

同志社社会福祉沿革

1931(昭6)年 文学部神学科社会事業学専攻

1941(昭16)年 文学部文化学科厚生学専攻

1944(昭19)年 法文学部厚生学科(1946文学部社会学科)

1948年(昭23)年 文学部社会学科社会福祉(学)専攻

(1950年(昭和25)大学院 社会福祉学専攻開設)

2005(平成17)年 社会学部社会福祉学科

社会福祉専任教員 群像

1) 前史 慈善時代 同志社英学校、神学校時代 1875—1930

新島襄、八重、山本覚馬、デービス、牧野虎次ほか

2) 神学科社会事業学時代31—40(竹中)

竹中〔30-53〕 大林〔35-44〕 嶋田〔35-80〕 竹内〔42-46〕 →48年関学移籍

嘱託講師: 竹内愛二、牧野虎次、32より海野幸徳、33大林宗嗣

3) 厚生事業時代41—47(竹中、竹内、大林、嶋田)

竹中〔30-53〕 大林〔35-44〕 嶋田〔35-80〕 竹内〔42-46〕

4) 社会福祉学専攻時代48—(嶋田、デッソー、小倉、大塚ほか)

竹中〔30-53〕嶋田〔35-80〕中條〔49-66*91〕Grant〔50-61〕小倉〔50-97〕Wood〔50-74〕井垣〔53-93*98〕大塚〔54-92〕Dessau〔51・58*-70〕住谷〔59-94〕井岡〔71-07〕黒木〔78-〕岡本〔80-07〕渡辺〔93*77-04〕

11

前史①(英学校時代)



新島八重 山本覚馬

アメリカンボード、宣教師一団

J.C.Berry,J.D.Davis,D.W.Learned,D.C.Green,M.L.Gordon,

M.F.Denton,

熊本バンド



山本覚馬1828－1892

- 八重の兄、会津藩士、砲術家、京都府顧問、京都府議会初代議長、蘭学塾の教授
- 新島とキリスト教に共鳴 1885年受洗
- 同志社の命名者、土地
- 全盲の人



13

前史② 同志社神学校 慈善事業時代

留岡幸助

山室軍平（石井十次）

牧野虎次

北海道バンド

（教誨師）



留岡幸助1864-1934

- 1885同志社入学
- 1888卒業後、牧師、教誨師
- アメリカ留学
- 北海道家庭学校創設



<http://www.gendaipro.com/tomeoka/yokoku.html>

15

山室軍平1872-1940

- 1889同志社入学 1895同志社退学
- 「偉大なる退学者」
- 日本救世軍創設
- 日本を代表するキリスト教伝道者
- 廃娯運動
- 『平民の福音』



16